

授業方法について独自に工夫していること 【教育科学系】

受講学生が多い授業なので、講義形式でも学生の興味の引きつけられるように、できるだけ具体的な例を話すようにしました。
また、映像資料を適宜利用しました。

パワーポイントで行い、パワーポイントの資料は印刷して配布している。

授業テーマについて、グループで話し合う機会を設け、テーマについては社会的に統一された見解がないこと、その結果として実は多様な考え方がそれぞれされていることなどについて気づき、自分の考え方についても見直す機会となればと考えている。

どのような基準で学業成績の結果を出したか。 【教育科学系】

評価の材料は、講義中のリアクションペーパー・小レポート・期末レポートです。「臨床の知」は、ある知識を獲得すればよいのではなく、ひとつの「世界の見方」「現実のとらえ方」ですので、対比的に紹介してきた「科学の知」をふまえて、学生の中に「現実のとらえ方」の変化が起こっていると読みとれるものには高い評価を与えました。

レポート及び、授業参加度

レスポンスペーパーを毎回書いてもらい、授業参加態度を見ることと、講義内容についての論述式のテスト。

アンケート結果を受けて改善したいところ 【教育科学系】

最終レポートの学生の感想には、「講義を受けてものの見方が変わった」「教師になったときに活かすことができそう」など評価の高いものも多くありましたが、一方で、教師とのコミュニケーションという面では不足を感じていたようでした。講義中に学生にもっと発問し、またそれについてコメントを返す、グループワークを取り入れるなど、かかわりを増やすような工夫を取り入れてみたいと思いました。

次年度以降この授業は開講されないため、この授業内での改善は難しいですが、もう少し授業のレベル設定を考えたいと思います。

講義を受けたうえでの発展的な学習をあまり行っているとは言えない状況にあるので、講義内でもう少し、発展的な学習につながるような著作の紹介などを行いたい。またコミュニケーションがついてもあまりうまく取れている感じがしないようなので、質疑の時間を取るなどもう少しその点については注意を払って講義を行いたい。